

# はちくぼ会事業計画案

コミュニティは地域の諸活動を担う基本です。近年、農山漁村地域においては、過疎化・高齢化の進行等により、旧来の農業集落単位のコミュニティ機能が低下してきています。茅野区程度の範囲において、女性や若い人などが音頭をとり年配の方のアドバイスを頂き、地域住民の創意と工夫による新しいコミュニティづくり活動が必要です。国もこのような活動に対し、支援を行っています。地域で徹底的に話し合い、生き活きとしたコミュニティを作り、都市との交流などを通じて地域の活性化に取り組んでいきます。

## 趣旨活動の基本・・・キーワード[循環型と癒し]

茅野区の自然・歴史・環境を再確認し、地域住民の生活の向上及び都市住民との交流環境を整備する

1. 遊休農地の活用に関する事
2. 里山の保全に関する事
3. 農業用水保全管理に関する事
4. 農林業の後継者育成に関する事
5. その他農林業及び地域の活性化に関する事

### 広域的活動

伊豆市天城地域の中にあり全国的ブランドである自然遺産の保全管理に協力する

国、県、伊豆市など行政機関や観光協会や商工会などの公的事業の協力体制を確立(市民団体としての「はちくぼ会」)イベントや整備事業に都市住民協力を得て積極的に支援する。

伊豆市天城地区にある主な自然遺産として下記が上げられる。

滑沢溪谷・太郎杉

旧天城トンネル・旧天城街道

\* 11月開通100周年記念イベント

本谷川を中心とした自然豊かな溪谷

八丁池周辺と万次郎・万三郎がある天城山系

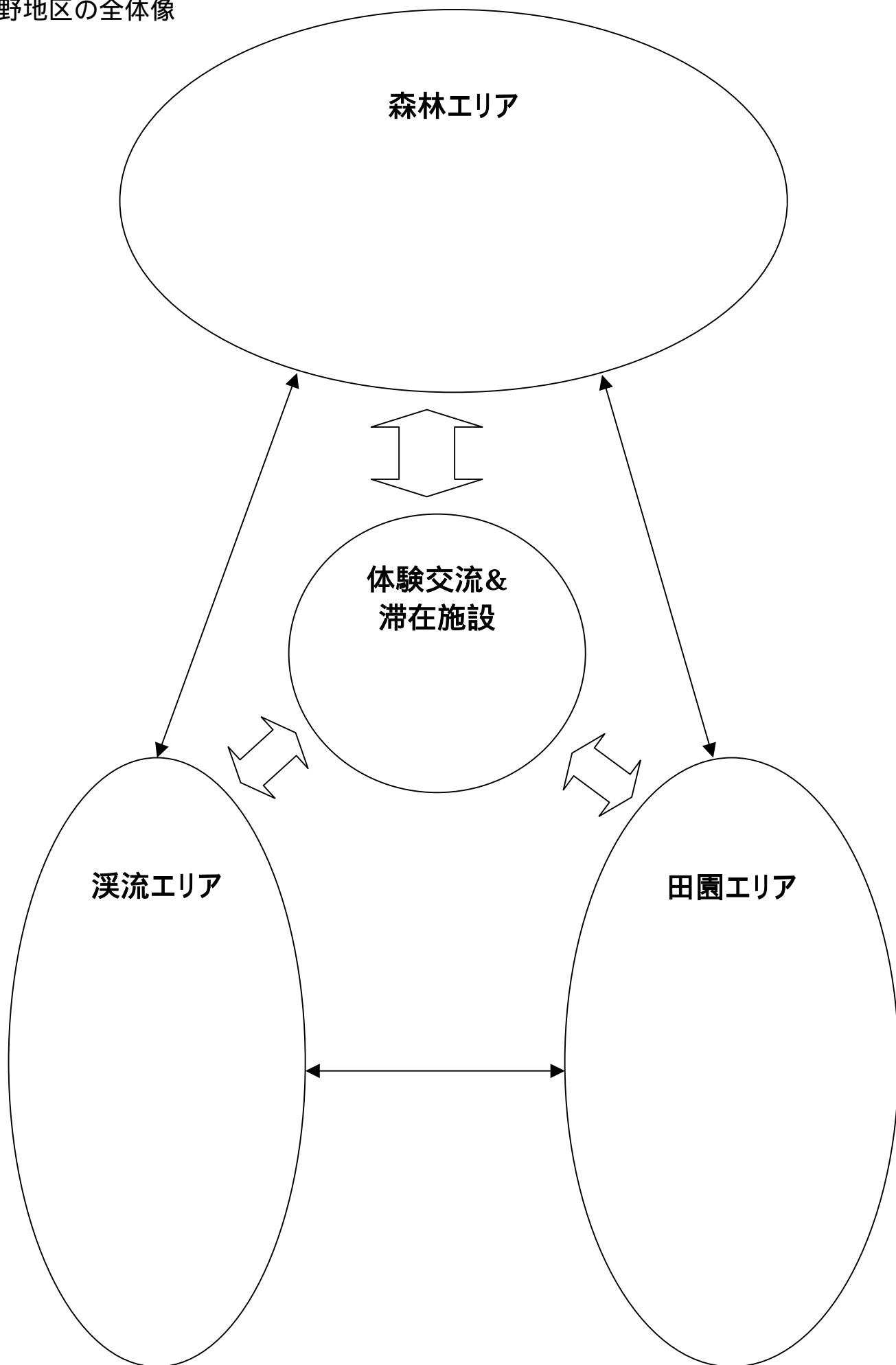
日本の滝100選「浄蓮の滝」

歴史的建物な発電所

昭和の森

大川畑キャンプ場

茅野地区の全体像



# 茅野区周辺事業プラン

身近な茅野区の自然遺産を

茅野区住民と都市住民の交流の場として保全・管理する

**森林エリア**……「はちくぼ山」及び周辺に広がる里山の保全管理

近年、森林を保健、文化、教育的な活動の場として活用することに対するニーズが高まっています。また、一般市民が森林の保全・整備に直接参加する森林ボランティア活動等が活発になっています。

このような状況を踏まえ、国では、保健・文化・教育的な利用の場に適した森林の整備への支援や、体験学習、森林ボランティア活動等に対する支援を行うとともに、国有林においては、「法人の森林」や「ふれあいの森」制度などにより国民参加の森林づくりの場の提供などを行っています。私たちの生まれ育った懐かしい芝山のはちくぼ山を都市と山村が交流する場として、復活していきます。

具体的に……

**場所**

はちくぼ山区有林・コミュニティ広場・梅林等

**誰が**

茅野区民及び都市住民

\*協力依頼……静大セミナーハウス(学生ボランティア)

**どのように**

間伐・芝山に一部復活

林道及び歩道の整備

コミュニティ広場整備・梅林整備

間伐材を利用したフィールドアスレックス……管理・運営 \*補助金事業

間伐材で木工品の作成と販売……新聞記事参照

雑木の植林……鎮守の森の威力\*注1 保水力・景観・健康(花粉症等)等で威力を発揮する。

ケヤキ・椿・シャラ・ヒメシャラ・アオキ・サカキ・コブシ・コナラ・クヌギ・山桜等

## 田園エリア・・・放置された遊休農地活用 \*優先順位No1

近年、都市住民の間で、市民農園などで野菜や花などを栽培してみたい、土とふれあいたい、自分の子どもや孫に農作業を体験させたいという意向が高まっています。このような状況を踏まえ、国では、市民農園や農業体験活動の受入体制の整備への支援を行っており、遊休農地等を活用した都市農山漁村交流等の取組みが各地で進められています。また、国では、地方公共団体及び農協以外の者による市民農園の開設を可能とする特例を構造改革特別区域法において措置したところです。茅野区にある遊休農地を、農業者と消費者との交流の場、子どもたちの農業体験・自然体験の場として活用していきます。

### 具体的に・・・

#### 場所

岡田氏所有の桐山地区田園・・・雑穀として そば、麦(平成17年11月より～、あわ、キビ、さとうきびを植える

山本靖所有の田園・・・古代米の栽培平成18年4月より

与一坂地区農地・・・伊藤氏所有畑でそばの栽培(平成18年度4月より～)

足立氏・岡田氏所有畑にて無農薬野菜の栽培(平成17年2月より実施)

#### 誰が

はちくぼ会会員・都市住民及びボランティア・静大学生

\*中心の実行部隊 山本康夫 中村慎 足立浩

#### どのように

雑穀栽培・・・黒米・麦・そば・きび・あわ・ひえ・とうもろこし・さとうきび(なんでも農園大東町松本氏より頂く予定・・・18年4月より～)

現状と将来性及び必要性・・・別紙資料参照

栽培と収穫

無農薬野菜 \*オーナー制度や市民農園もあり

ハーブ栽培・・・天城に適したもの(ミント類・ステビアなど)

\* 花事業は一過性要素が高く長続きしない

\* いのしし村との連携・・・ヤギやポニーとのふれあい。

\* 自然放し飼い鶏

大型ビオトープ・・・水生昆虫や泥んこ遊び、釣堀・・・岡田氏所有田んぼにて実施要諦

\*かたつむりが協力する・・・体験型食の提案及び販売所の提供

#### どうする

販売と食す・・・

販売は建設中のかたつむり販売所にて実施。

無農薬野菜の販売(すでに実施)、窯パンや燻製も販売予定  
すでに販売されている「やすさん米」に加え「やまちゃん米」も実施予定

## 溪流エリア……マイナスイオンの宝庫狩野川の支流(本谷川)の整備

水は命の源であり、従来から、海、川、海辺、水辺等は憩いの場やレクリエーションの場として活用されてきました。また、水辺を学習等の場として活用することが増えてきています。国においては、河川、農業用水路等の整備に当たり、体験学習、レクリエーション、憩いの場としての活用や、自然環境・景観の保全等に配慮した事業を推進しており、水辺を活用した地域活性化等の取組みが各地で進められています。茅野区としても本谷川周辺を昔の遊び場として復活させていく。

### 具体的に……

#### 場所

水恋鳥広場～発電所～浄蓮の滝・浄蓮上の滝周辺・桐山周辺・昭和の森～大川場キャンプ場跡  
滑沢溪谷・岩尾川支流

#### 誰が

茅野区民と都市住民及びボランティア

#### どのようにして

活動の前提に自然災害という大きな壁がある……その上の提案として捉えて頂く  
基本は川遊びができるエリア……魚が住める川に……。魚取り(かじりやモリで、魚釣り)カンテラで夜魚取り  
飛び込みや川原BBQ

水恋鳥広場……観光協会後援(富士見山荘管理)夏休み中一般公開

発電所～浄蓮の滝まで……溪流ツアー

\*滝尻さん私有地や歩道の整備で問題あり。実現すれば魅力的なスポットに

浄蓮の滝マ스つり……観光協会事業 \*現状は採算が取れていない

#### 対策として

ルアーやフライを許可してフィッシングマニアの誘致……管理釣り場としての整備

地元有志で管理運営

釣った魚のBBQスペースの確保 \*現状はかたつむりで対応

桐山周辺……わさび体験施設との連携

桐山湖の再開発

林道の一般開放

滑沢溪谷……FCコミッションとの連携で環境整備を重視 徹底した自然環境保全重点地域に指定県や国の力で保全していく

大川畑周辺……キャンプ場としての施設から体験施設への移行

外資の勧誘

## 各エリアを結ぶ「みち」の整備

「みち」は、地域と地域を結ぶ架け橋であり、古来より、人々が行き交い、生活活動や産業活動において中心的な役割を果たしてきました。近年、歴史的な古い道を再整備したり、そういう道をフィールドとしたウォーキング大会を地域間で連携して開催するなどの取組みが各地で行われてきています。また、「道の駅」に様々な機能を持たせ、地域の核として、また地域内外の人々の交流拠点として活用する取組みが進められています。国においても、このような取組みに対し、支援を行っています。踊子遊歩道や旧天城街道の整備は行政に頼ってもなかなか前に進みません。地域住民や都市住民の力で管理をしたいと思います。

具体的に……

**場所**

旧天城街道の整備・踊子歩道の管理運営・

**誰が**

茅野区民・行政・都市住民及び観光客

**どのようにして**

定期的に協力してゴミをなくす  
植林と植栽

## 元気なシニアやシルバーの協力のもと地元の人材活用が必要

歴史・伝統・文化は、有形・無形を問わず、地域のアイデンティティであり、また、地域の誇りでもあります。近年、国民の価値観の多様化が進み、地域に根ざした歴史・伝統・文化の価値が再認識され、伝統芸能、歴史的建造物、歴史的なたたずまいの残る町並みなどの保全・再生、これらを活用した地域振興などの取組みが各地で進められており、国もこのような取組みを支援しています。私達の世代交代に欠かせない伝統の引継ぎをシニア・シルバーの協力を得て実施し、地域の活性化に貢献してもらおう組織化が必要です。

### 具体的に……

#### 場所

茅野区全域

#### 誰が

フィールドスタッフ(定年退職したシニア・茅野区老人クラブその他)

#### どのように

フィールドスタッフとして登録。それぞれの得意分野

\*たとえば俺は草刈が得意とか。チェーンソ-なら負かしてくれとか。庭木の剪定ならぁ……。とか  
一人暮らしの家庭や子供たち都市住民交流会等で活躍して頂く。

ボランティアが望ましいが、長く続くものでもないの、ある一定の報酬ははちくぼ会で支出する。

\*シルバー人材センターの報酬(10000円)は高すぎる!



## 3つのエリアを結ぶ交流体験施設及び簡易宿泊施設の建設

近年の少子化を背景とした学校の統廃合等により、公立小中学校数は過去10年間で約 2,000 校程度減少しています。また、今後も、学校数の減少や旅館等の廃業が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、国では、廃校の活用にあたっての事務手続きの簡素化を進めてきており、また、再整備のための支援も行っています。また農家の方が都市住民を泊めてあげる民泊も法律改正で安易になりました。TV では「田舎に泊まろう!」「ダッシュ村」「自休自足」等の番組を高視聴率を上げております。廃建設物を都市住民との交流拠点等として活用する取組みが各地で進められています。茅野区でも森林管理書研修所や大川畑キャンプ場、民家の空家がありその活用が課題になっています。

### 具体的に……

#### 場所

現状ではかたつむり周辺が適当でしょうか？

候補地として、

森林管理所研修センター

大川畑キャンプ場跡地

点在する空き民家

茅野区多目的主会場

子供広場(現ゲートボール場)

コミュニティー広場

いのしし村

#### 誰が

はちくぼ会が母体となり運営組織を作る……NPO法人など

#### どのように

交流体験施設は中伊豆のように行政の補助金事業でかない大掛かりな建物を作る事例が多いのですが、この先の補助金事業はできるだけ避けたいところです。既存の施設を利用、あるいは再利用することがとても大切。身近な残念な事例ですが、市山公民館や日出医院など古い建物を簡単に壊してしまっています。歴史ある建造物はその役目が終わり、かなり老朽化はしていますが、地域の財産としてできるだけ残したい物です。候補地としてあげた森林管理所研修センターは正にその建物でしょうか！

また大川端キャンプ場ももったいない現状です。

滞在施設は、現在茅野区では民宿「いわたや」さん、天城山荘さん、かたつむりがありますが、廃業した「みぎわ」さんや民泊など新しい方法も今後は期待できるはずです。